



栄町と野田市で出前あすなろ塾を開催しました。

栄町では、11月に「分かる・できる授業づくり」と「教材研究と問い」をテーマに、1月に「能動的に考える授業づくり」と「資質・能力を育む『主体的・対話的で深い学び』の授業づくり」をテーマに研修を実施しました。

野田市では、12月に「保護者との関係づくり～生徒指導・保護者対応のケース演習～」と「生徒指導の機能を生かした分かる授業づくり」をテーマに研修を実施しました。

日々の生徒指導や保護者対応について参加者同士で協議をしたり、児童・生徒が能動的に授業に取り組む手立てや工夫について考えたり、振り返ったりする良い機会となりました。

## 栄町 (令和5年11月10日)

当日の様子と参加者の声

特に印象に残ったことは、発問の大切さです。発問によって児童のやる気も大きく変化するため、発問を授業の鍵と考えて、発問の工夫に力を入れていきたいと思いました。



参加者同士での話し合いや演習が非常に多く、自分の考えを整理するだけでなく、他の先生の取組を知ることができたり、アドバイスをもらったりして、大変参考になりました。

## 野田市 (令和5年12月1日)

当日の様子と参加者の声



若手の先生たちとたくさん話ができて刺激的でした。保護者との関係づくりは本当に大切なので、日頃から子供たちの良いところをたくさん伝えていきたいと思います。



## 栄町 (令和6年1月12日)

当日の様子と参加者の声

授業を行うにあたって子供たちにどのような力を身に付けさせたいのか、そのためにどのような発問をしたり、支援をしたりすればよいのかを深く考えることができました。



日々忙しい中で、普段あまり考えることができていなかった部分を深く見つめ直すことができ、とても有意義な時間となりました。